

まちを護り続ける「こくうぞうさん」

虚空蔵会（八木 義夫 代表）が新しく建立した虚空蔵菩薩庵（田浦町、市水道部庁舎の南側）で、虚空蔵菩薩等安置式が6月29日に挙行されました。

虚空蔵菩薩は、江戸時代の初期から400年以上もの長きに渡り、田浦町など勝浦川流域に住む人々の安寧を祈るとともに、災害で被災し亡くなられた方々の慰霊を続けてきた仏像であり、次の時代に継承し大切に保存するため、このたび新しいほこらに安置され、一般の方が参拝できるようになっています。



災害啓発用防災掲示板を市に寄贈

小松島南ロータリークラブの設立40周年記念事業として、姉妹提携を結ぶ台湾の台中西南ロータリークラブと50万円ずつ出し合い作製された「災害啓発用防災掲示板」を市に寄贈していただき、同掲示板の除幕式が7月2日に執り行われました。

同掲示板は、市役所玄関前の庭に設置され、市の津波ハザードマップや避難時の心得などを記載。また、太陽光パネルで発電した電力をもとに、LEDが自動的に点灯し、夜間時などでもご確認いただけます。

地域ぐるみで子どもの読書活動を支える

読み聞かせの会「ぶんぶん」（前田 智恵美 代表）が「学校サポーターズクラブ」の認証を徳島県から受けられました。

同会は、和田島小学校・幼稚園・保育所・学童保育で始業前や昼休みなどに週1回～月1回、本の読み聞かせボランティアを行い、子どもの読書活動を支援していることが評価され、このたびの認証となりました。

この活動は、子どもの保護者や地域の方々からなる会員が協力しながら、約12年以上継続的に取り組まれており、同会では、読み聞かせボランティアに協力していただける方を現在募集しています。



夏を彩る港まつり 港町を華やかに演出

7月20日と21日に小松島港岸壁や小松島ステーションパークたぬき広場などで、「小松島港まつり」が盛大に催され、大勢の家族連れが多様なイベントを満喫していました。

港まつり開催に際しては、各会場周辺の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。関係者皆様のご協力により無事終了することができたことを心より感謝いたしますとともに、厚くお礼申し上げます。

小松島港まつり運営委員会事務局